

東京海洋大学海洋工学部及び神戸大学海事科学部 オープンキャンパスに協力

当協会は、2008年7月に人材確保タスクフォースを設置し、船員教育機関(大学、高専、海事教育機構)とも連携しつつ、優秀な日本人船員(海技者)確保のための様々な広報活動等を展開している。

この度、その一環として、2015年7月24日(金)に東京海洋大学海洋工学部、8月7日(金)に神戸大学海事科学部深江キャンパスにおいて、高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスが開催され、当協会もこれに協力した。

東京海洋大学では、キャリアコンパス～将来の仕事を見よう～という題目で海運産業や海技者の仕事について講演する機会を得たことから東京海洋大学のOBでもある日本郵船 玉田光一船長が講演を行った。

また、両大学ともに当日は同学部が卒業後の進路等について相談を受けるべく設置した「相談コーナー」に当協会のブースが設けられ、現役船長、機関長の視点から、東京海洋大学では当日講演も行った玉田船長が、また神戸大学では商船三井 森口輝実機関長が訪れた約50名の高校生や保護者からの相談に応じた。

参加者からは、海技者のキャリアパス、休暇、待遇、仕事で必要とされる英語力等について幅広い質問が寄せられ、玉田船長、森口機関長がそれぞれ丁寧に対応した。

当協会では、今後も船員教育機関と連携しつつ、優秀な日本人海技者確保に向けた活動を継続していく。



神戸大学オープンキャンパスの当協会相談ブースの様子(多くの高校生が訪れた)



東京海洋大学 玉田船長による講演の様子



東京海洋大学 相談ブースの様子



質問に応じる講師の方々(写真左(東京海洋大学にて)玉田船長、同右(神戸大学にて)森口機関長)

